

Lesson

3

---

帳 票 を 作 る

---

Ver.3 対応版

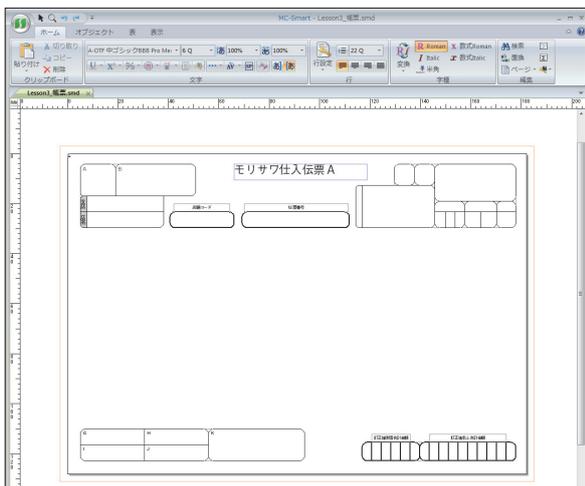
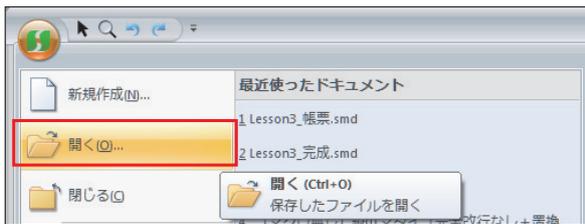


## Step1 グリッドを設定する

表組では、レイアウトを整えるためグリッドを利用して作成するのが便利です。特に帳票ではインチグリッドを必要とする場合があります。

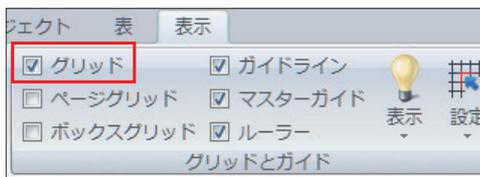
### 1 ファイルを開く

- このLessonで使用するファイルを開きます。 をクリックして【開く】を選び、【Lesson3\_V3】フォルダにある【Lesson3\_帳票.smd】を選択してファイルを開きます。

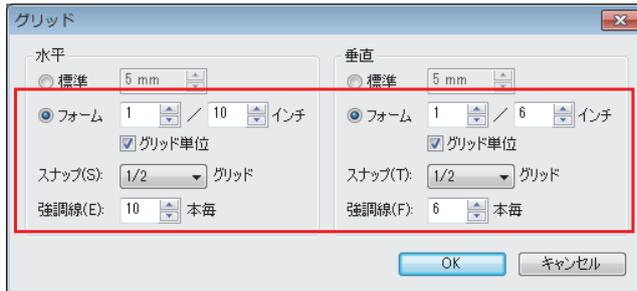
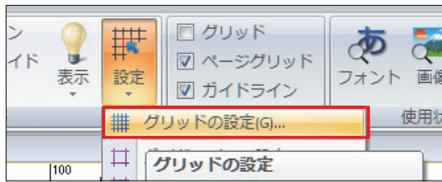


### 2 グリッドを設定する

- グリッドを表示します。【表示】タブ→【グリッドとガイド】→【グリッド】の  を  にします。



- 2 グリッドの設定を行います。**【表示】** タブ→ **【グリッドとガイド】** → **【設定】** をクリックし、リストから **【グリッドの設定】** を選択します。**【グリッド】** ダイアログを表示し、下図のように設定をします。



#### 水平

フォーム 1 / 10 インチ

グリッド単位 チェックオン

スナップ 1 / 2 グリッド

強調線 10 本毎

#### 垂直

フォーム 1 / 6 インチ

グリッド単位 チェックオン

スナップ 1 / 2 グリッド

強調線 6 本毎



### グリッドのスナップを設定する

- 3 **【表示】** タブ→ **【スナップ】** → **【グリッド】** の  を  にします。



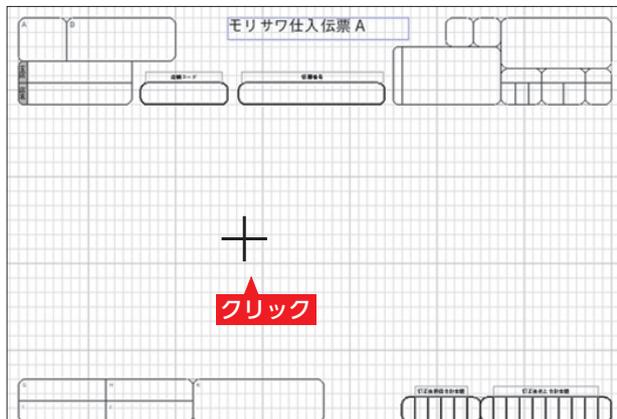
## Step2 表の骨格を整える

表の行・列数や位置情報などの基本設定を行い、表の結合を使用して骨格を整えます。

### 1 表オブジェクトを作る

行・列数を指定して作る

- 1 【表】 タブ→【表】 →【作成】 をクリックし、レイアウト画面上でマウスをクリックします。



- 2 【表作成】 ダイアログが表示されます。下図のように設定をして、【OK】 をクリックします。レイアウトウィンドウに表が作成されます。



分割数	位置	サイズ
行数 11	左上X 2g	指定方法 サイズ基準
列数 7	左上Y 8g	幅 68g 高さ 16g



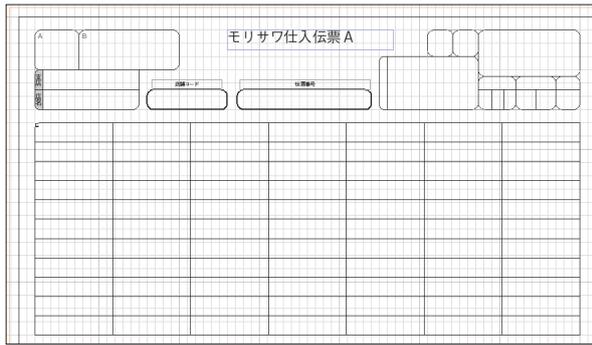
表の作成は【表タブ】 → 【罫線】 → 【引く】 を選択し、マウスをドラッグして作成する方法もあります。



テキストにカーソルを挿入した状態で【表】 タブ→【表】 →【作成】 を選択すると、【浮動設定】の  が自動的に  になり、浮動表の作成になりますので注意してください。

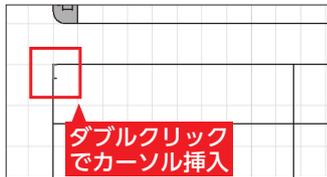


単位【g】はグリッドの単位になります。【表示】 タブ→【グリッドとガイド】 →【設定】 →【グリッドの設定】 →【グリッド】ダイアログの【グリッド単位】にチェックを入れると使用できます。



### 表の列・行サイズを調整する

- 3 表の列サイズを調整します。表の左上セル上でダブルクリックし、セル内にカーソルを挿入します。【表】タブ→【セル】→【列サイズ】をクリックします。

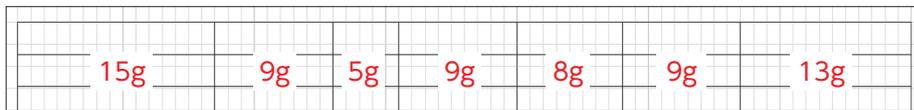


- 4 【列サイズ】ダイアログが表示されます。サイズ変更を【列のみ】にし、列サイズに1列目のサイズを指定します。【後の列】をクリックして、残りの列サイズも入力します。全ての列のサイズ指定が終わったら【OK】をクリックします。



1列目	15g	5列目	8g
2列目	9g	6列目	9g
3列目	5g	7列目	13g
4列目	9g		

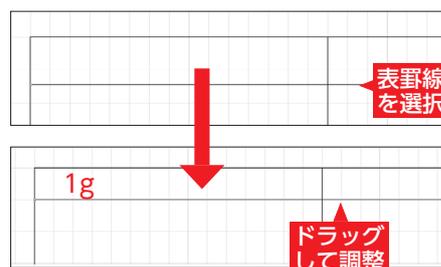
列サイズが整います。



- 5 次に行サイズを調整します。【表】タブ→【罫線】→【選択】をクリックし、1行目の行間罫線を選択し、マウスをドラッグして1行目の高さを下図のように設定します。



1行目 1g



【表作成】は表全体のサイズ設定以外にも【線と角】、【割付サイズ】、【回り込み】についても設定ができます。なお、【表】タブ→【表】→【設定】にて位置やサイズ、浮動設定の再設定ができます。



【Ctrl】キーを押しながら、表やオブジェクトの上をマウスでクリックしても表を選択できます。

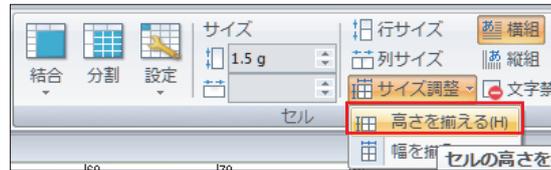
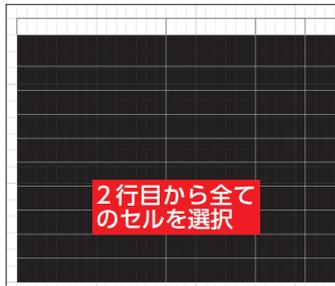


セル上でダブルクリックをするとテキスト編集用のカーソルを挿入できます。

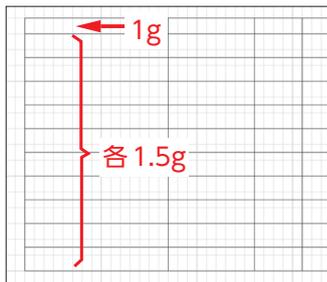


【表】タブ→【セル】→【サイズ】でも列や行のサイズ変更は可能です。ただし、サイズは【表全体】として調整されます。

- 6 残りの行サイズを調整します。表の2行目にカーソルを挿入し、2行目から下の全てのセルをマウスでドラッグして選択し、【表】タブ→【セル】→【サイズ調整】をクリックし、リストから【高さを揃える】を選択します。



選択した行の高さが均等に揃います。



## 2 表を結合する

- 1 表の右下のセルを作成します。【表】タブ→【罫線】→【引く】をクリックします。

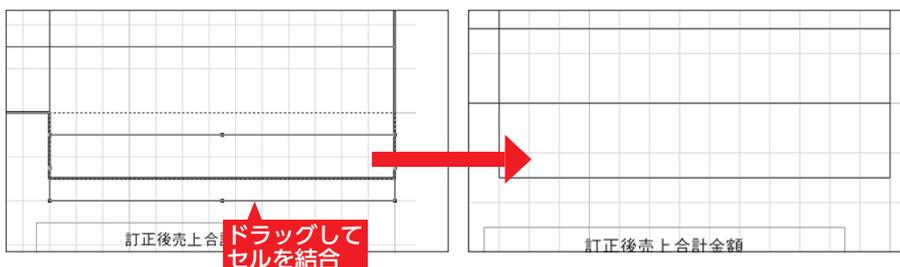


- 2 マウスをドラッグして、表を作成し、下図のようにサイズを設定します。



行数	1	幅	13g
列数	1	高さ	1.5g

- 3 【表】タブ→【表】→【結合】をクリックし、作成した表を選択して、大きい表の右下セル付近に重ねます。表が結合されます。



セルを選択するにはカーソルを挿入してマウスをドラッグするか、マウスを【右クリック】→【選択】にて選択ができます。また、【Ctrl+Alt+C】キーを押すと、セルを1つ選択することができます。



【表】タブ→【罫線】→【引く】を使用すると、表を作成できます。また、表内に罫線を引いて各々のセルとして分割することもできます。



Shiftキーを押しながらオブジェクトをドラッグすると、水平・垂直のみに動かすことができます。



表同士の回転角度が異なる場合は結合できません。



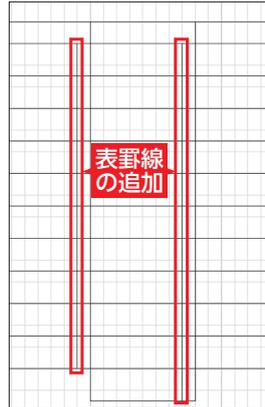
## Step3 表の罫線・色・角丸を設定する

表の罫線・色・角丸設定を行います。

### 2 罫線を設定する

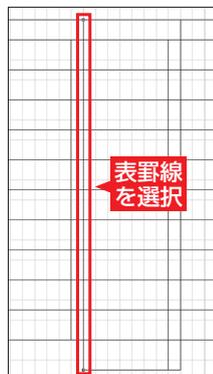
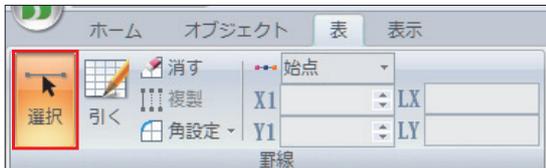
#### 罫線を追加する

- 1 4・5列目に罫線を追加します。**【表】** タブ→ **【罫線】** → **【引く】** をクリックし、表の4・5列目に下図のように罫線を引きます。

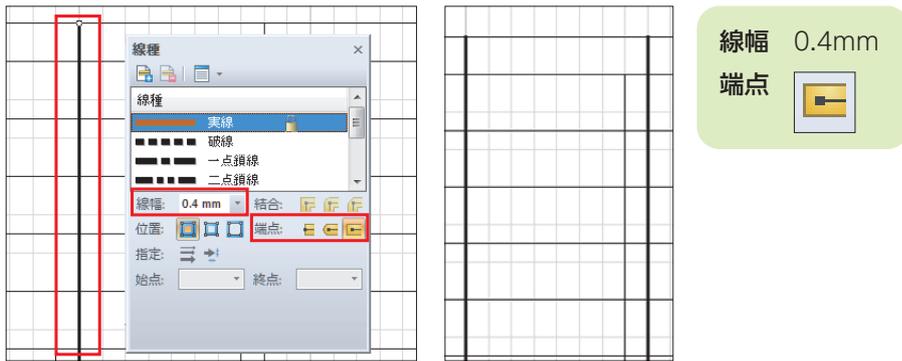


#### 罫線を太くする

- 2 5列目の罫線を太くします。**【表】** タブ→ **【罫線】** → **【選択】** をクリックし、5列目の左側の罫線を下図のように選択します。



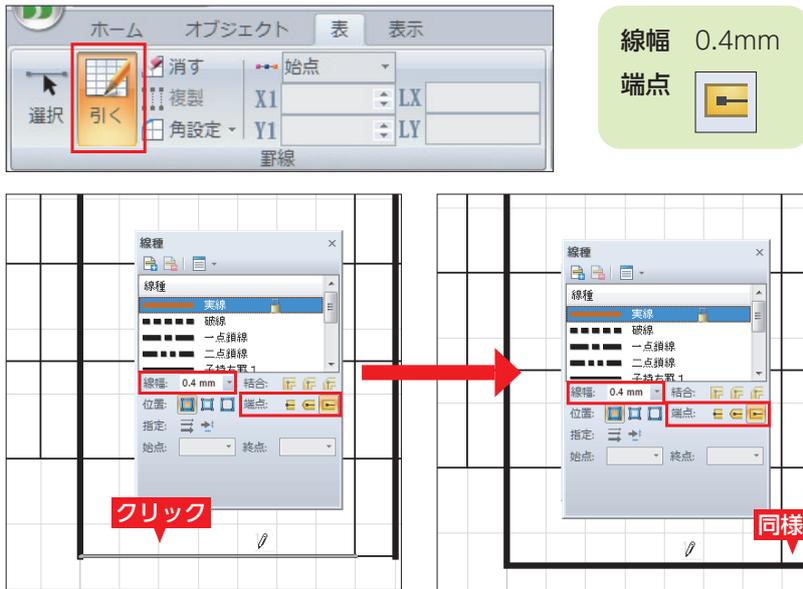
- 3 **【表示】** タブ→ **【ウィンドウ】** → **【パレット】** をクリックし、リストから **【線種】** を選択し、**【線種】** パレットを表示します。**【線種】** パレットで下図のように設定します。同様に右の罫線も設定します。



- 4 上の罫線も太くします。【表】タブ→【罫線】→【選択】をクリックし、【Ctrl】を押しながら、上の罫線を選択します。【線種】パレットを表示し、下図のように設定します。



- 5 下の罫線も太くします。【表】タブ→【罫線】→【引く】をクリックし、【線種】パレットを下図のように設定して、下部の罫線をクリックします。



**アザバイス!**

【Ctrl】キーを押しながら罫線を選択するとセルごとの罫線で選択することができます。

**アザバイス!**

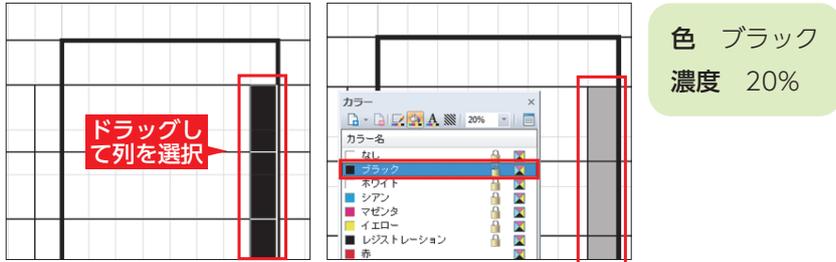
罫線の選択は【Shift】キーを押すと、複数選択することができます。

**アザバイス!**

【引く】で罫線をクリックまたはなぞる事で太さなどを設定することができます。

## 2 色を設定する

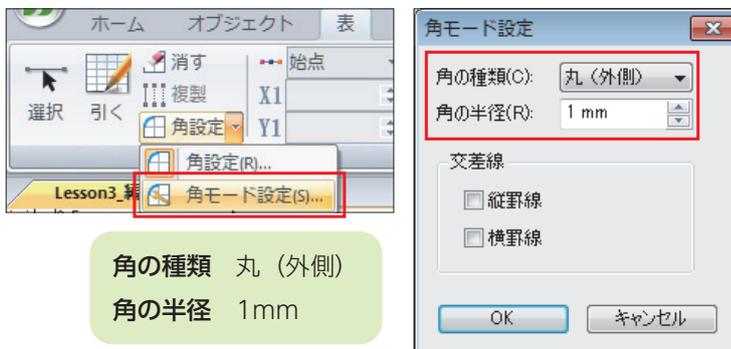
- 1 5列目に追加したセルに色を設定します。追加したセル上でダブルクリックし、セル内にカーソルを挿入し、マウスをドラッグして列全体を選択します。【表示】タブ→【ウィンドウ】→【パレット】をクリックし、リストから【カラー】を選択し、【カラー】パレットを表示します。【カラー】パレットで【塗り】を設定をします。



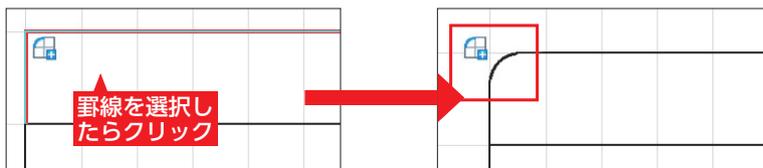
## 3 角丸を設定する

### 角丸を設定する

- 1 【表】タブ→【罫線】→【角設定】をクリックし、リストから【角モード設定】を選択します。【角モード設定】ダイアログで下図のように設定し、【OK】をクリックします。



- 2 表の左上角にカーソルを近づけ、左・上罫線を選択したら、クリックします。左上角に角丸が設定されます。同様に表外枠の各角に角丸を設定します。



気をつけて!!

角丸は【表】タブ→【罫線】→【角設定】を押した状態でないと設定できません。

アザバイス!!

【角の種類】は以下の形状が選択できます。



気をつけて!!

角丸は2辺の属性(線種、線幅、カラー、濃度)が異なる場合、設定することはできません。

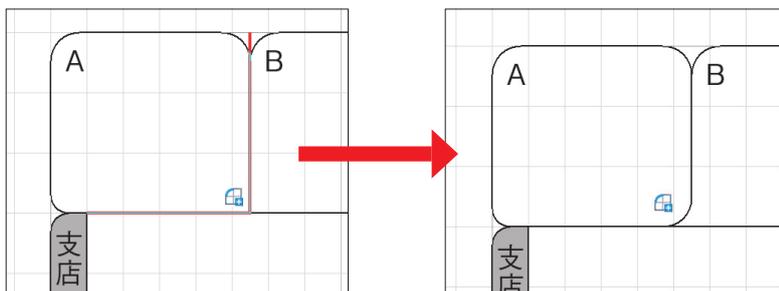


### 角丸の交差線を設定する

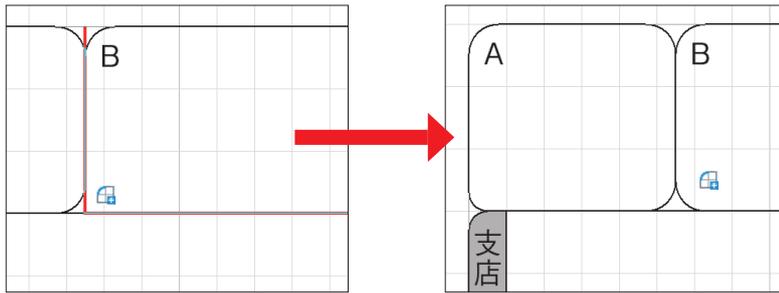
- 3 【表】タブ→【罫線】→【角設定】をクリックし、リストから【角モード設定】を選択します。【角モード設定】ダイアログで下図のように設定し、【OK】をクリックします。



- 4 ドキュメント内にある左上表の角丸を交差線ありで設定します。Aのセルの右下角にカーソルを近づけ、下図のように右・下罫線を選択し、クリックします。横罫線が表示された状態で角丸が作成されます。



5 同様にBのセルの左下角にも設定します。



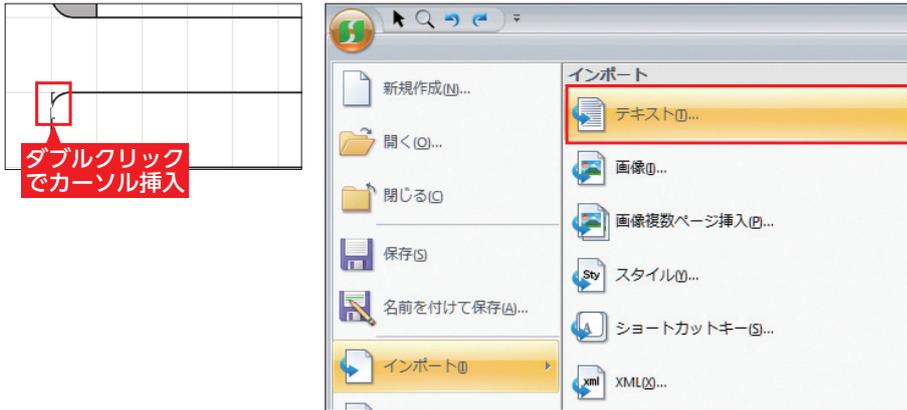
## Step4 テキストインポート&セル設定

表にテキストをインポートし、セルの書式、スタイルなどの設定を行います。

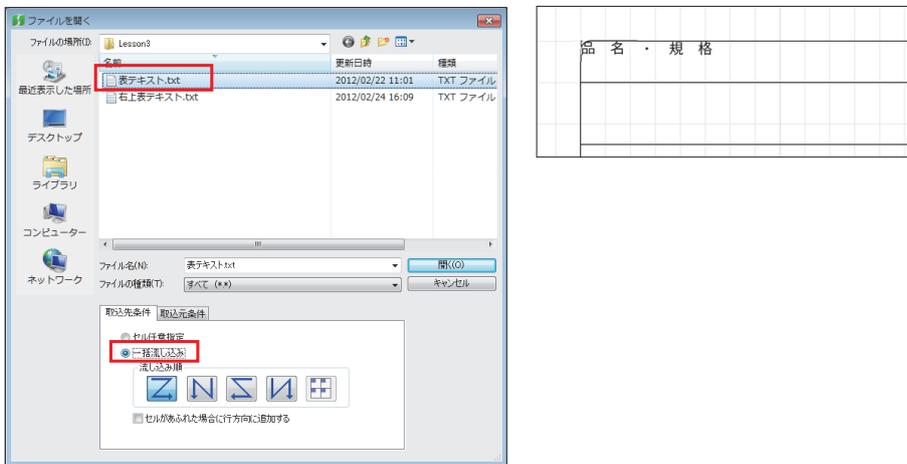
### 1 テキストをインポート

#### ヘッダーのテキストをインポートする

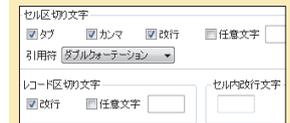
- 1 表の左上セル上でダブルクリックし、セル内にカーソルを挿入します。  をクリックして、【インポート】→【テキスト】をクリックします。



- 2 ファイルの種類【ANSIテキスト】を選択します。【Lesson3\_V3】フォルダ内の『表テキスト.txt』を選択し、【一括流し込み】を選び、【流し込み順】のアイコンの1番目を選んで、【開く】をクリックします。表の1行目にテキストがインポートされます。



インポートファイルの詳細については【取込元条件】タブで設定します。



#### 【セル区切り文字】

タブ、カンマ、改行、任意文字を選択できます。

#### 【レコード区切り文字】

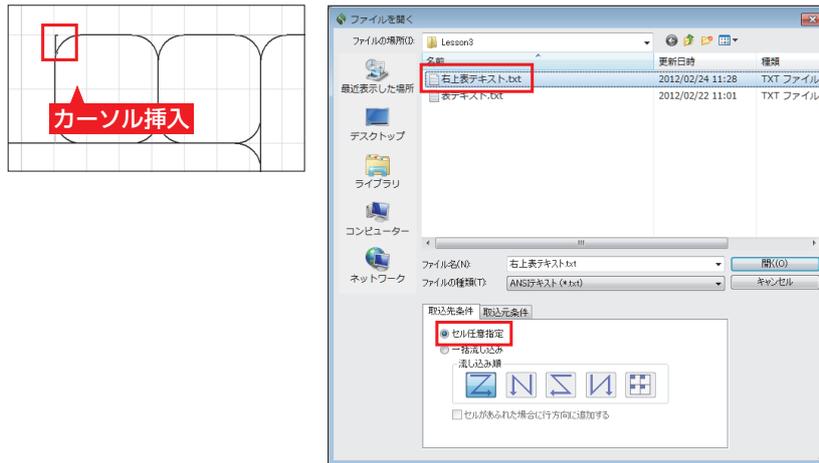
改行、任意文字を選択できます。

#### 【セル内改行文字】

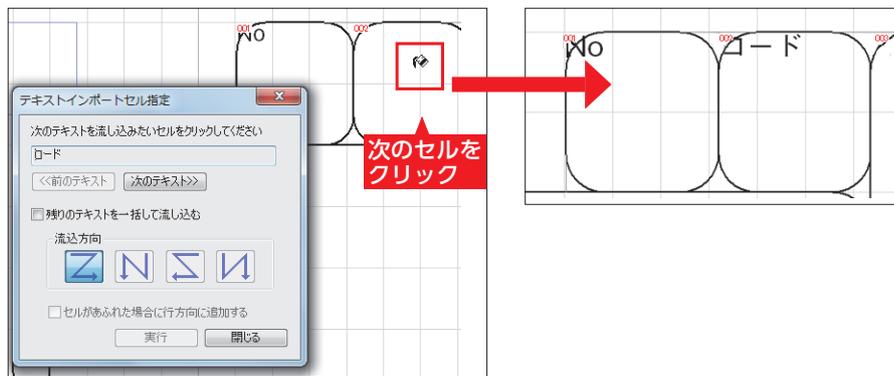
セル内改行を置き換える文字を指定できます。

#### 任意のセルにテキストをインポートする

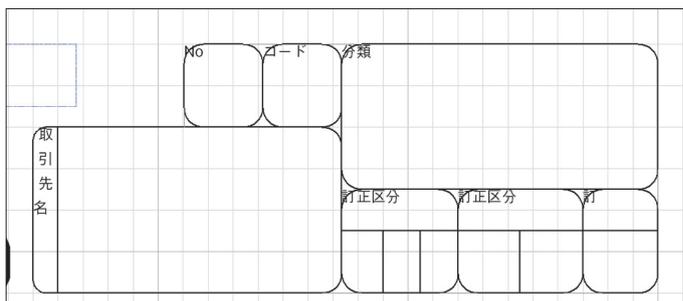
- 3 ドキュメント内にある右上表にテキストをインポートします。右上表の左上セル内にカーソルを挿入します。  をクリックして、【インポート】→【テキスト】をクリックします。【Lesson3】フォルダ内の『右上表テキスト.txt』を選択し、【セル任意指定】を選択して、【開く】をクリックします。



- 4 左上セルにテキストが流し込まれ、【テキストインポートセル指定】ダイアログが表示されます。ダイアログ内に次に流し込むテキストが表示されますので、流し込みたいセルをマウスでクリックします。セルにテキストが流し込まれます。



- 5 同様に次に流し込むテキストを確認しながら、セルをクリックしていき、下図のようにテキストを流し込みます。



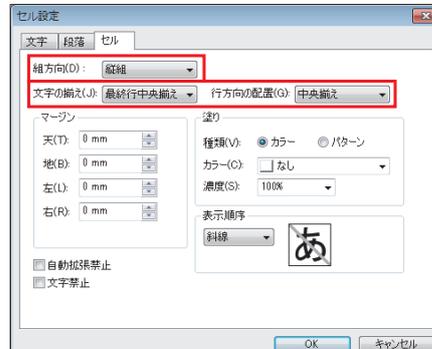
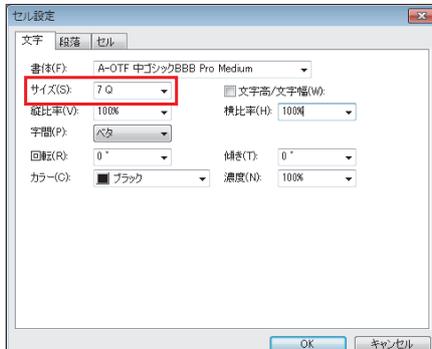
## 2 セルの書式設定を行う

### 右上表のセル設定を行う

- 1 【取引先名】のセル内にカーソルを挿入します。【表】タブ→【セル】→【設定】をクリックし、【セル設定】のダイアログを表示します。下図のように設定を行います。

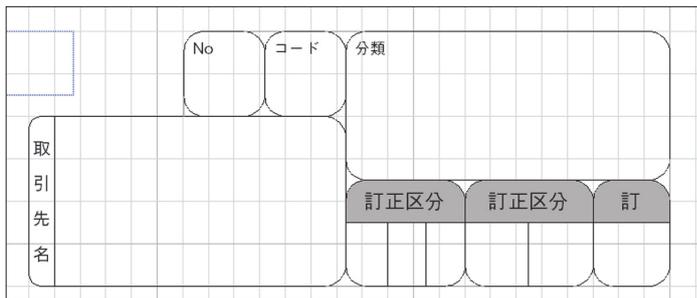


表を選択しない状態で【セル設定】ダイアログを設定した場合、その内容が初期値となり、次回作成する表のすべてのセルに適用されます。



文字サイズ 7Q 文字の揃え 最終行中央揃え  
組方向 縦組 行方向の配置 中央揃え

## 2 その他のセルも下図のように設定をしましょう。



### 【No、コード、分類セル】

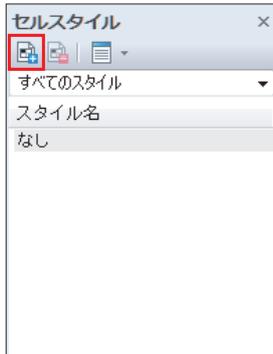
マージン天 1mm マージン左 1mm

### 【訂正区分、訂セル】

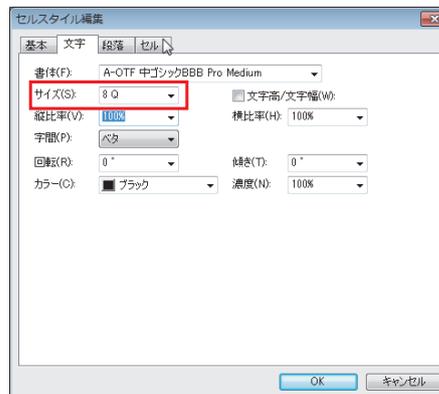
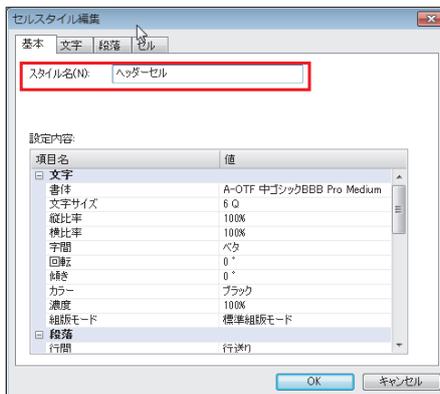
文字サイズ 8Q 文字の揃え 最終行中央揃え  
行方向の配置 中央揃え 塗り ブラック 20%

## セルスタイルでヘッダーの書式設定を行う

- 3 【表示】タブ→【ウィンドウ】→【パレット】をクリックし、リストから【セルスタイル】を選択し、【セルスタイル】パレットを表示します。【セルスタイル】パレットの  をクリックし、スタイルの新規作成を行います。

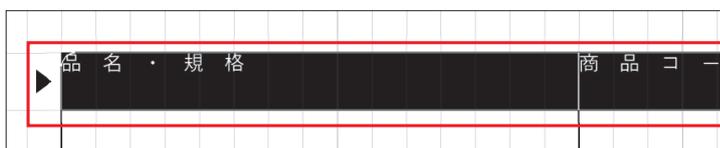


- 4 スタイルを下図のように設定します。

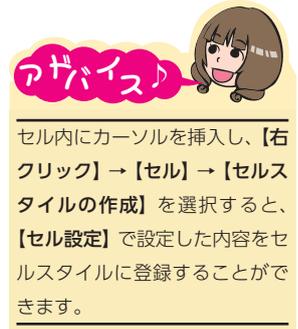
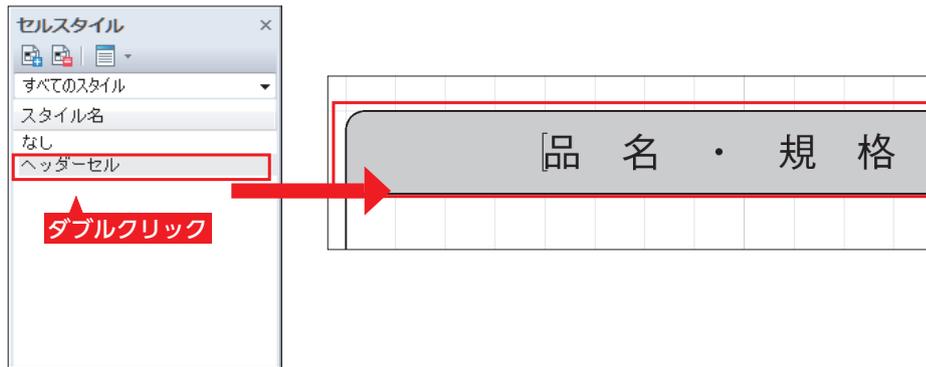


スタイル名 任意の名称  
 文字サイズ 8Q  
 文字の揃え 最終行中央揃え  
 行方向の配置 中央揃え  
 塗り ブラック 20%

- 5 作成したスタイルをヘッダーに適用します。表内にカーソルを挿入した状態で、1行目の左側にマウスを近づけるとカーソルが▶になりますので、クリックして1行目を選択します。



- 6 【セルスタイル】パレットより、作成したスタイルをダブルクリックして、適用します。  
ヘッダー部分にスタイルが設定されます。



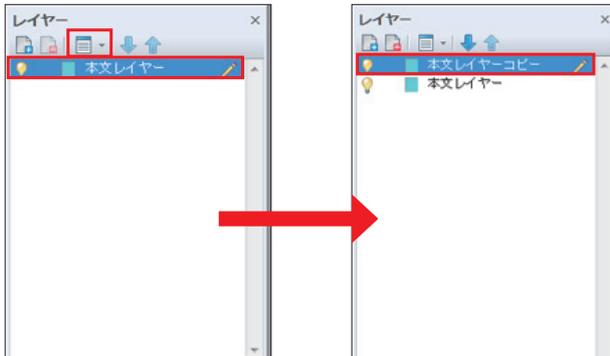
## Step5 レイヤーで複写データを作成する

レイヤー機能を使用して、帳票の複写用データを作成します。

### 1 レイヤーを作成する

#### レイヤーを複製する

- 1 【表示】タブ→【ウィンドウ】→【パレット】をクリックし、リストから【レイヤー】を選択し、【レイヤー】パレットを表示します。【レイヤー】パレットで『本文レイヤー』を選択した状態で、パレットの  をクリックし、【『本文レイヤー』の複製】をクリックします。『本文レイヤーコピー』が作成され、複製されます。



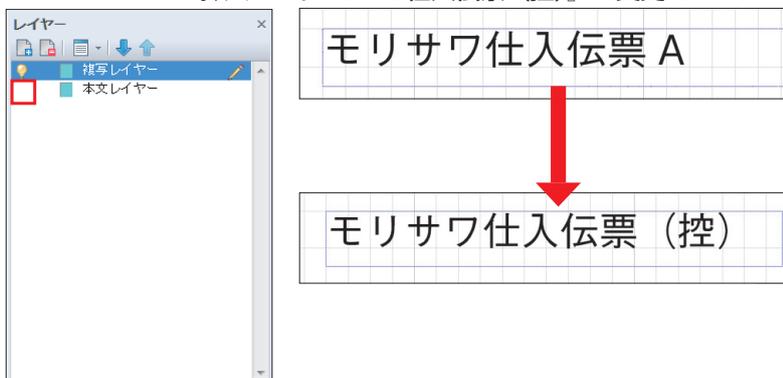
- 2 複製したレイヤーの名称を変更します。『本文レイヤーコピー』をダブルクリックし、【レイヤー設定】ダイアログを表示し、レイヤー名を下図のように指定します。



レイヤー名 複写レイヤー

#### 作成したレイヤーの体裁を編集する

- 3 【レイヤー】パレットで『本文レイヤー』の  をクリックし、『複写レイヤー』のみを表示します。さらに『複写レイヤー』を選択し、『モリサワ仕入伝票A』のテキストボックスにカーソルを挿入し、『モリサワ仕入伝票 (控)』に変更します。



以上で帳票は完成です。



ドキュメントウィンドウでの表示は【レイヤー】パレットに登録されているレイヤーの階層順になります。レイヤーの順番を変更する場合はパレットの  か、レイヤーの名称部分をドラッグして移動します。



各レイヤーを印刷をする/しないの設定は、左図の【レイヤー設定】の【印刷】を使用します。チェックを入れたレイヤーのみが印刷されます。もしくは、 印刷したいレイヤーのみを表示して印刷します。



各レイヤーで作成したオブジェクトは、選択した状態で、【レイヤー】パレット→ →【オブジェクトのレイヤー移動】で別のレイヤーに移動することができます。もしくは、オブジェクトを選択し、【右クリック】→【オブジェクトのレイヤー移動】でも別のレイヤーに移動することができます。

---

---

## MC-Smart チュートリアルガイド

2016年5月10日 第9版

発 行 株式会社 モリサワ  
本 社 大阪市浪速区敷津東2-6-25 〒556-0012  
TEL (06)6649-2151  
東 京 本 社 東京都新宿区下宮比町2-27 〒162-0822  
TEL(03)3267-1231

本製品に関する情報は <http://www.morisawa.co.jp/>

---

---